

# ボランティアセンター 東日本大震災ニュース

日本医療福祉生協連 近畿ブロック有志

No 13 2011年5月19日  
発行担当 ヘルスコープおおさか・白井

## 引っ越しで汗ながし奮闘

19日、坂元中学避難所から仮設住宅や他の避難所へ引っ越しの方々のお手伝いに、みやぎ県南医療生協の理事、組合員さんと共に奮闘しました。

畳の移動、掃除や荷物の運搬などに汗を流しながら、被災者の方々と対話を行いました。

まだ引っ越し出来ない方の不安や仮設住宅へ入居した後の問題などに耳を傾け、生活再建にはまだ先は長く、課題が多いことを実感しました。



## 住民の自治能力が課題

19日夜、山元町の住民の方々の意見を聞く機会があり、県南医療生協職員の本田さんと一緒に参加しました。

住民の生活再建のためには住民自身が要求を出し合うこと、そしてそれをまとめて、復興方針に活かしていくことが重要、と熱く語られていました。

そのためにもまず、住民の自治組織の再建と情報を共有する方法の確立が早急に求められます。

## なにわ保健生協 竹島さん お疲れさま!



14日から現地入りしていた、なにわ保健生協の竹島さん（写真中央）が19日帰阪されました。

介護福祉士として被災者の方々の介護についての相談や対話、そして槻木センターでの食事作りにも大奮闘して頂きました。お疲れさまでした。